

『麻薬の自己管理マニュアル』 発信のお知らせ

2006年に「病院・診療所における麻薬管理マニュアル」が改訂され、入院患者が麻薬を管理することができるようになりました。しかし、当院では、臨床で患者が麻薬を管理しているものの、リスクマネジメントマニュアルでは麻薬の自己管理は認められていません。そこでこの度、PCT・リスクマネージャー・薬剤部が協議し、麻薬の自己管理についてのマニュアルを作成しました。管理会議で提示していますが、詳細については、班長会議、緩和ケアチーム看護部リンクナース連絡会を通してお知らせいたしたいと思ひます。

今後、患者自身が痛みをマネジメントできるよう、また円滑に在宅移行するためのステップとして、皆様にこのマニュアルを活用していただければと思ひます。ご不明な点がある場合は、いつでもPCT専従看護師までご連絡下さい。

～ お知らせ ～

緩和医療科副部長佐々木聡先生は、国立がん研究センター中央病院での研修のため、10月1日から来年3月31日まで不在となります。

また、その間は、青森慈恵会病院 医療局長・緩和ケア科総括部長 小枝淳一先生が当科をサポートして下さることになりました。小枝先生は毎週火曜日の勤務となります。皆様よろしくお願ひいたします。

PCTのアンケートに

PCTでは、PCTの活動を評価し、その効果と今後の課題について検討することを目的に、10月よりアンケートを実施いたします。アンケートの対象は、病棟の医師および看護師となります。

皆さんお忙しいとは思ひますが、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

ご協力ください！

患者用パンフレット

『リンパ浮腫を予防するために』ができました！

リンパ浮腫予防に関する患者用パンフレット『リンパ浮腫を予防するために』が完成しました。パンフレットは、リンパ浮腫指導管理料を取得するための必要項目に準じています。今後は病棟において活用していただきたいと思ひます。活用の詳細については、PCT看護部リンクナース連絡会を通じてお知らせいたします。

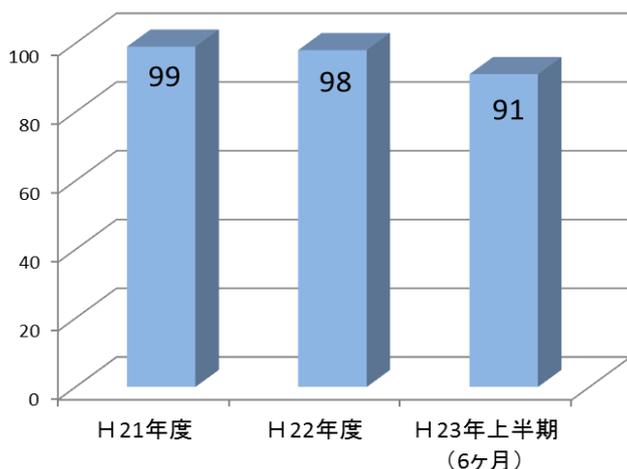
なお、当パンフレットはがん診療センター幹事会でも提示いたしました。



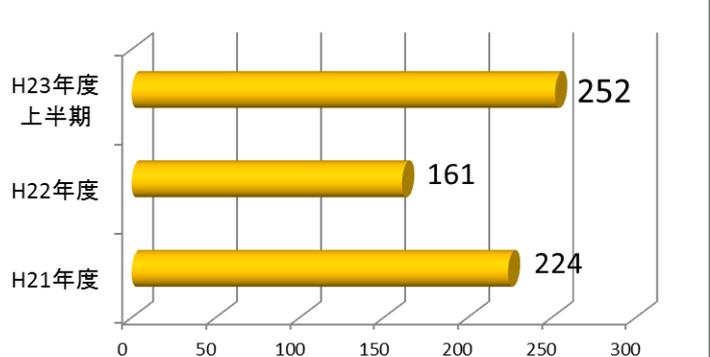
緩和ケアチームの活動状況と実績(2011年4月～9月)

- ◆PCT介入件数 … 本年度はPCTへの介入依頼の伸びが大きく、4月から9月末日までの上半期で既に昨年・一昨年と同程度まで介入件数が増えています。依頼内容は、疼痛緩和(50%)が最も多く、次いでメンタルケア(10%)、リンパドレナージ(7%)、アロママッサージ(6%)となっています。
- ◆疼痛初期アセスメントシートの提出状況について … 平成21年度の導入から3年目となった疼痛初期アセスメントシートですが、本年度は上半期を経過した時点でこれまでの最多提出数に達しており、シートの提出が浸透していると考えられます。しかし病棟別にみると6西・7西病棟からの提出が全体の7割強を占めており、診療科格差の解消が今後の課題です。ご多忙とは思ひますが、シートの積極的な提出をお願ひいたします。

PCT介入件数



疼痛初期アセスメント表提出数



可能な限り、がんの苦痛に対応します。
お気軽にご相談下さい！